

ビジネス科 2年D組

教科	商業	科目(単位)	課題研究(2単位)
使用教科書	—		
授業形態	通常授業 ・ 分割授業 ・ TT		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。
 ※TT(チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
--

2 科目の内容と授業の進め方

<ul style="list-style-type: none"> ・会計の諸活動に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、会計に対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けます。 ・商業科目で学んだ経営や商品、販売に関する知識を基礎に、地元岐阜市に愛着を持ち、岐阜市に存在する地域の強みを発見し、岐阜市の魅力を発信する。 ・地域の特性を知り、特産を考案することで、地元岐阜市の産業に目を向け、持続可能な社会の実現のために自分たちができることを考える。

3 学習の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・「簿記」と同様に、赤ボールペンや電卓などを利用します。また「財務会計」では「簿記」以上に会計規則について学習することが重要です。企業会計原則、商法、商法施行規則、金融商品会計基準などの資料を活用するようにしましょう。 ・各自が研究テーマを設定し、自分に何ができるか、どう課題を解決するか考える。 ・研究テーマに必要な教材となるものを調べる。(ノート、コンピュータ、新聞など) ・グループ活動を行い、協働する。 ・計画を立て、実行する。 ・毎時の振り返りを行う。 ・考察計画したことを実践する。必要に応じて外部団体への提案を行う。 ・研究結果をまとめ、各自の研究成果を発表する。
--

4 課題・補習について

<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の取り組みの計画を立て実行し、振り返る。(日誌提出) ・プレゼンテーションの提出、発表、相互評価を行う。 ・年度末にレポートの提出を行う。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

<ul style="list-style-type: none"> ・なし

6 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、その仕組みについて学習するとともに、適正な会計処理を行う技術を身に付けている。 ・单元ごとの確認テスト、定期考査および模擬試験問題の実施により、理解度を高める。 ・研究テーマのデータ収集に使用するハードウェアとソフトウェアの利用に必要な知識を身に付けている。 ・反復練習により簿記およびコンピュータの利用技術を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 ・ワープロソフトを利用し、どのような操作をすれば効率的に報告文書ができるか判断できる。 ・デザインに関する知識を活用し、目的に応じた適切な表現で作品を作ることができる。 ・研究テーマの制作に際して著作権に正しく配慮した作品作りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組む態度をもち、会計処理を行う実践的な態度を身に付けている。 ・簿記が実務で活用できることを理解し、自ら学習する意欲を身に付けている。 ・ビジネスに必要な文書作成に関する技術を習得することを理解し、自ら学習する意欲を身に付けている。 ・会計コースで学んだことを活かし、研究テーマを設定し意欲的に取り組む態度を持っている。

ビジネス科 2年D組

教 科	商 業	科目(単位)	課題研究 (2単位)
-----	-----	--------	------------

7 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	商品売買 現金および預金 債権・債務 有価証券	<ul style="list-style-type: none"> 商品売買における認識の基準について理解する。 銀行勘定調整表の作成方法について理解する。 有価証券の分類と株式、債券の処理方法について理解する。 	行動観察 小テスト 前期中間考査
5	有形固定資産 リース取引 無形固定資産と研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の購入、売却、改良、修繕などの処理方法を理解する。 リース取引を理解させ、会計処理方法を理解する。 無形固定資産について理解する。 	
6	引当金 外貨換算会計 税金	<ul style="list-style-type: none"> 引当金の必要性を理解する。 為替換算の処理方法を理解する。 	行動観察 小テスト 提出物 前期末考査
7 8 9	課税所得の算定と税効果会計 株式の発行 剰余金の配当と処分 決算手続き	<ul style="list-style-type: none"> 課税所得の算定方法と税効果会計について理解する。 商業簿記における仕訳について理解するとともに、個別論点の内容を理解する。 利益剰余金の配当と処分方法を理解する。 株主資本等変動計算書の作成方法について理解する。 決算手続きについて理解する。 	
10 11	収益・費用の認識基準 本支店会計 合併と事業譲渡 連結会計 製造業会計	<ul style="list-style-type: none"> 収益・費用の認識基準の違いを理解する。 財務諸表の作成方法を習得する。 本支店会計について、会計処理方法を理解する。 連結会計について、資本連結・成果連結について理解する。 製造業会計について理解する。 	
12	研究テーマの設定 企業研究	<ul style="list-style-type: none"> 商業高校・会計コースで学習したことを踏まえ、研究テーマを設定する。 地元岐阜市の産業に目を向けて、持続可能な社会の実現のために自分たちができることを考える。 研究テーマに沿った研究計画を立案する。 	日誌
1 2 3	研究テーマをまとめる	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマを深く知り、必要な情報やデータの収集分析を行う。 次年度の活動に向けて研究テーマのレポートを作成する。 	日誌 レポート